

千葉市感染症発生動向調査情報

2023年 第51週 (12/18-12/24) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	定点	51週	50週	49週	48週	
上段: 患者数 下段: 定点当たりの報告数 「定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数	小児科	18	18	18	18	*正式名称は インフルエンザ/COVID-19定点
	眼科	5	5	5	5	
	*インフル/COVID	28	28	28	28	
	基幹	1	1	1	1	

定点	感染症名	注意報	千		葉		市		千葉県
			12/18-12/24	12/11-12/17	12/4-12/10	11/27-12/3	12/11-12/17		
			51週	50週	49週	48週	50週		
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	1	5		
	咽頭結膜熱	◎	52	37	46	38	467		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓↓	106	141	126	108	1,062		
	感染性胃腸炎	↓	178	189	233	163	954		
	水痘		5	5	1	2	21		
	手足口病		4	5	3	6	34		
	伝染性紅斑		1	1	1	0	1		
	突発性発しん		5	8	3	1	22		
	ヘルパンギーナ		1	1	0	2	2		
	流行性耳下腺炎		0	0	0	2	5		
*インフル/COVID	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	★↓	631	687	538	466	6,290		
	新型コロナウイルス感染症	○	85	65	55	43	857		
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	2		
	流行性角結膜炎		1	7	3	8	53		
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0		
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎		1	0	0	1	0		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0		

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

「流行中」 流行発生警報開始基準値以上

「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

2 全数報告対象疾患: 5 例

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	画像診断等	梅毒	女性	40歳代	血清抗体の検出
	男性	80歳代	病原体の分離・同定	百日咳	男性	10歳代	IgM抗体の検出
	男性	80歳代	胸水ADA値の上昇	-	-	-	-

・第51週は、結核3例(115)、梅毒1例(69)、百日咳1例(1)の発生届があった。

※ ()内は2023年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第51週のコメント

<咽頭結膜熱>

前週より増加し2.89となった。過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は5歳が最多。区別では、緑区(6.00)が流行発生警報開始基準値(3.0)を上回り最多で3歳の報告が最も多かった。他に稲毛区(3.33)が流行発生警報開始基準値を上回り、若葉区(1.50)が流行発生警報終息基準値(1.0)を上回った。

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

前週より減少し5.89となったが、過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は7歳が最多。区別では、稲毛区(10.67)が流行発生警報開始基準値(8.0)を上回り最多で7歳の報告が最も多かった。他に緑区(6.75)及び中央区(5.00)が流行発生警報終息基準値(4.0)を上回った。

<感染性胃腸炎>

前週よりやや減少し9.89となった。過去10年の同時期と比べるとやや少なく、年齢階級別の報告数は1歳が最多。区別では、緑区(20.25)が流行発生警報開始基準値(20.0)を上回り最多で4歳の報告が最も多かった。他に若葉区(18.50)が流行発生警報終息基準値(12.0)を上回った。

<インフルエンザ>

前週よりやや減少し22.54となった。流行発生注意報基準値(10.0)を上回ったままであり、過去10年の同時期と比べると最多のまま。10歳未満の年齢階級別の報告数は7歳が最多。区別では、中央区(37.20)が流行発生警報開始基準値(30.0)を上回り最多で10歳未満では8歳及び9歳の報告が最も多かった。残り5区は全て流行発生注意報基準値を上回った。

<新型コロナウイルス感染症>

前週よりやや増加し3.04となった。年齢階級別の報告数は70歳代が最多。区別では、中央区(7.40)からの報告が最多で30歳代の報告が最も多かった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2023.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2023.pdf